

公務員試験が大人気！ 不景気を反映？

JSC 貿易部ニュース 中国編

12月に入り、ようやく冬らしくなってきた感じがする今日この頃。

気が付くと今年も残りわずかとなり、日本の年末、お正月、中国の旧正月と何かと気忙しい季節になってまいりました。貿易部としては、旧正月前の出荷・納品でお客様にご不便・ご迷惑をお掛けしないようギリギリまでお手伝いを頑張ってまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

さて、旧正月が近づいてきた中国に目をやりますと、国家公務員試験「国考」のニュースが目にとまりました。



最近の中国は、石材業界も不況ですが、家電や自動車の販売も低調気味、国内の建築、不動産も不景気風が吹き、大学を卒業しても仕事に就くことができないという人も増えてきているとか。

そんな中、出願者が殺到しているのが国家公務員試験だというニュースを見て、国は変われど不景気になった時の求職者のベクトルはどこも同じなのだなど、ひとりで妙に納得していた次第です。

11月30日、12月1日の2日間で行われた2025年採用の公務員筆記試験。その出願者数は341.6万人、前年比約38万人増ということで過去最高を更新したそうです。

一部の職種では競争倍率が1万6000倍だったということですから、どうあがいたら合格できるのか、私なんかは想像もできません。

中国の公務員試験というと、その激しい競争から、清朝時代まで続いた高級官僚登用試験になぞらえて現代版の「科挙」と表現されることもあります。昔に負けず劣らずの厳しい競争環境のようです。中国では公務員や国有企業の従業員は「鉄飯椀（割れない茶碗）」とも言われ、特にコロナ以降は人気が高まっているそうです。

中国の大卒者数が年間1000万人ということですから、大卒者の3人に一人が公務員を目指して出願している計算になります。ちなみに、日本の大卒者数は年間60万人弱で公務員採用一般職試験の申込者数が2万4000人、2012年以降で最も少なくなっているということですから対照的なものかもしれません。単純に比べることはできませんが、いかに中国の若者が不景気の中で安定を渴望しているかが表れているような気がします。

日中の石材業界を見渡しても、お墓の新規建立や石材の使用量の減少に伴い、採石業者や加工メーカー、商社、小売店も含め厳しい感じになってきていますが、頑張っただけで宜しくお願い致します。

【今月の石種情報】

採掘が停止されて以降、供給が細ったことから使用量が減った人気石種「平和654」ですが、弊社の協力工場では継続して受注・生産をしていますのでご紹介をしたいと思います。

昔のように大量に原石在庫を置いてということではないですが、石を切らさず継続販売しています。現在の原石在庫量は3600才（100立米）、長尺物は8尺（2.4m）まで、天板用などの大盤材は最大6尺角（1.8m角）が取れる石があります。

代替えとなるはずだった他の654系の石も供給不安や吸水、品質の問題でレギュラーの座を獲得できず、昔のベテランの選手（平和654）に再登場をお願いしているというお客様が増えてきています。

弊社で言えば、北海道から九州まで全国の石材店様でまんべんなく根強いニーズがあると言いますか、「慣れているし、見た目の評判もいいし、吸水も少ないし」ということで一定のファンを獲得しています。



欠点である白スジや黒玉の問題は依然ありますが、手頃な価格で高級感があり、消費者受けの良さもあってということでご注文をいただけているようです。

「平和654」注文の心得として大切なことは納期に余裕を持って注文する事。

じっくり検品の時間を取って注文する事です！

急ぐとロクなことの無い石ですので、その点が肝心です。

難しい石ではありますが、平和654の特長「お手頃価格で高級感」は健在です！

私たち貿易部のスタッフと現地の検品スタッフが協力して工場選択と現地検品をサポートしますのでもし良ければ使ってやって下さい！ 中国工場も注文をお待ちしております！

まだお試しでないお客様も納期に余裕があるご注文などで、是非ご検討下さい。

さて、以上で今年最後のメルマガは終了となります。

師走、何かとお忙しい時節柄にはなってきますが、皆様くれぐれもお体にお気をつけて良い年末をお迎え下さい。

日本石材センター・貿易部、来年も皆様に有益な情報をご提供できるよう情報発信にも頑張っまいます。引き続きのご指導、ご支援を頂けますこと心よりお願い申し上げます。今年一年締めのご挨拶とさせていただきます。

日本全国の石材店様、今年一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

貿易部・厦門スタッフ一同

2024/12/01